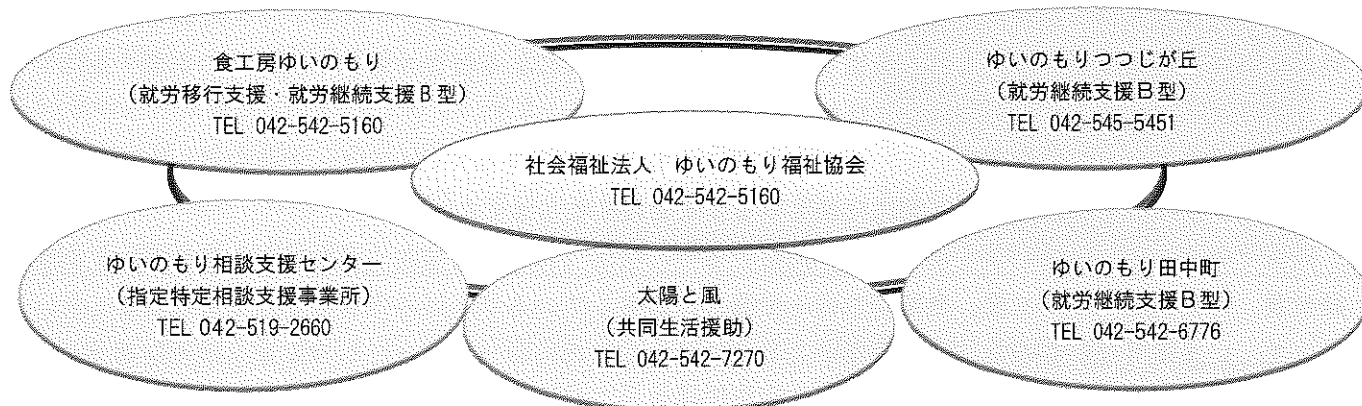


ゆいのもり通信



所在地：〒196-0011
東京都昭島市上川原町1-9-15
電話：042-542-5160



「感恩奉仕とご縁」

ゆいのもりつつじが丘 職員 小坂橋 良佑

初めまして。ゆいのもりつつじが丘の小坂橋良佑と申します。私の好きな言葉とゆいのもりとのご縁について書かせていただきます。

「感恩奉仕」は、私が高校時代、進路に迷っている際に恩師から頂いた言葉で、「すべての人に感謝。感謝の心で恩返しをする」という意味です。この言葉を頂いたことで、福祉の道を志そうと決めました。

私が、ゆいのもりに出会ったのは2017年の12月頃です。青梅の精神科病院を見学した際に担当の方が、実習先のゆいのもり田中町を知っており、浅川理事長と田中施設長と連携し支援を行った話を教えて下さいました。良い支援者の方がいる所で実習を行えるなんて、幸せな事だと思ったのを今でも覚えています。

その出来事があり、ゆいのもり田中町で実習を開始しました。メンバーさんは作業工程について、優しく教えて下さり、イベントの思い出話などもお話しして下さいました。職員の実習振り返りでは色々な経験談や考え、思いを指導していただき刺激的な日々を過ごさせていただきました。

実習も半ばに差し掛かった頃に田中施設長から「ゆいのもりで働いてみない？」と声をかけていただきました。光栄なことですが、迷いもありました。もともと精神科病院で長期入院している患者さんの退院支援を行いたいと考えていたからです。しかし、ゆいのもり田中町での実習で、地域生活を送るメンバーさんの姿を

学んでいく中で、「喜び、悩み、苦しみを共有しながらメンバーさんと共に歩む支援者になりたい。」と思うようになりました。これもご縁であり、ゆいのもりで働きたいと強く思ったので面接を受け採用していただきました。配属先は、ゆいのもり田中町でした。実習生から職員という立場になりましたが、先輩職員やメンバーさんに再度、温かく迎えていただき、「頑張ろう」という熱い気持ちを胸に社会人生活をスタートしました。3年半が経ち、くじけた時に立ち上がることができたのは周りの皆様のアドバイスとメンバーさんとの楽しい日々でした。

今考えるとゆいのもりで過ごした3年半がまさに「感恩奉仕」でした。この場を借りて、日々支えて下さる皆様に感謝を申し上げます。この感謝の気持ちを持ちながら今後のゆいのもり福祉協会と地域福祉の発展に、微力ではありますが尽力していきたいと考えております。これが、私にできる「感謝の心で恩返し」なのではないかと思います。

目次

◆「感恩奉仕とご縁」 職員 小坂橋良佑	P 1
◆ゆいのもり法人研修報告	P 2
◆「モリタウン販売報告」 チーム就労主催 「LITALICO ワークス立川 職員説明会」 「就労移行実績報告」	P 3
◆「メンバー投稿」「編集後記」	P 4

ゆいのもり法人研修を実施しました

2021年10月23日(土)に「ゆいのもりの今後の事業展開を考える」というテーマで、法人研修を実施しました。

平成元年に「共同作業所ゆいのもり社」を開設して以来、利用者や地域の様々なニーズに応えながら、就労系事業、計画相談、グループホーム、ショートステイと事業を拡大してきました。しかし、ここ数年は、就労系・居住系共に、利用希望者が減り、安定した利用が難しい方や、障がいの重い方の相談が増えている傾向にあると感じています。また、新型コロナウイルスの影響による社会の変化や、人々の意識・生活スタイルの変化は、今後もしばらく続くと思われます。

今回の研修は、上記の環境の中で、「今後、どのような事業展開をしていくのか、あるいは、どのような活動の工夫があるのか」を全職員で意見交換をすることを目的としました。

研修では、まず、事業所ごとに分かれ、現在の各所の状況(利用者の傾向や通所状況、事業収入や訓練等給付費、作業内容や平均工賃、事業所の強みや弱み、提供しているサービス内容など)を整理しました。その上で、いま足りないものや、改善したいこと、これから新たに取り入れたいものなど、様々な意見を出し合い、最後に事業所ごとに発表を行いました。

出された意見の一部を紹介します。

「送迎等の新たなサービスの導入」、「事業の整理・効率化(スリム化または拡大)」

「利用者の通所しやすい仕事や環境づくり」、「組織の再編成」、

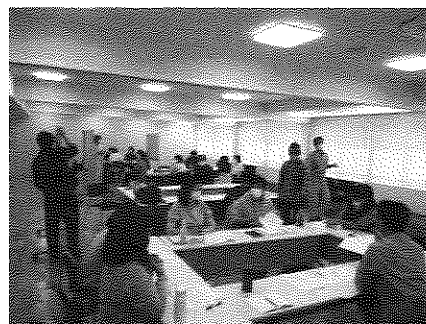
「職員の支援スキルのアップ」、「メンバーの工賃・手当の見直し」、

「メンバーの就労に向けた実習先の確保」、「下請けからの脱出」、

「相談室がほしい」、「メンバーが気軽にできる作業を確保する」、

「プログラムの充実」、「忙しいので余裕をもって仕事がしたい」

ここでは全て紹介しきれませんが、他にも多くの意見が出ております。



全体発表を行うことで、普段は分からない各事業所の現状や課題などを知ることができる良い機会にもなりました。今回の研修で、具体的な事業展開を決定することはありませんでしたが、今後の色々な事業展開の可能性があると共有できたと思います。また、出された意見は、単なるこの場だけの意見として終わらせることなく、このなかのどれかでも、取り組んでいきたいと考えております。職員ひとりひとりが常に経営者意識をもち、柔軟な発想や具体的なアクションを起こすことで組織を活気づかせ、ニーズに合った変化をし続けられるのではないかと思います。

最近、オンラインでの研修やミーティングが主となりつつありますが、今回、久しぶりに全職員が顔を合わせて活発な意見交換ができたので、非常に有意義な研修となりました。(筆者:半田 正博)

▼東京都共同募金会からご寄付(令和2年度)

食工房ゆいのもり 1,450,000円(備品設備)・食工房で軽自動車を購入致しました。

ゆいのもりつつじが丘 70,000円(備品設備)・つつじが丘で洗濯機を購入致しました。

太陽と風 200,000円(備品設備)・太陽と風で居室の冷蔵庫、洗濯機を購入致しました。

ありがとうございました。



モリタウン販売会に参加しました

2021年11月27日(土)、28日(日)に、「あきしまある※」の5事業所で、昭島モリタウン内にて販売会を開催いたしました。食工房は、焼き菓子(クッキー、マフィン、ブラウニー、スコーン)を販売させていただきました。新型コロナウイルスの影響で、このようなイベント販売は久しぶりでしたが、2日ともに、たくさんのお客様にお越しいただきました。開催にあたり、ご協力いただいた関係者の皆様、また、お越しいただいた皆様、誠にありがとうございました。

※「あきしまある」とは…障害のある人たちが働く、昭島市内の事業所で構成している団体です。手作り商品の販売促進活動や、お仕事の共同受注などを行っており、障害のある方が、地域でいきいきと充実した生活ができるように、工賃アップを目指しております。関係機関・行政・地域企業・市民の皆様と、繋がりを創りながら活動しております。

(筆者：半田 正博)



チーム就労主催「リタリコワークス立川 職員向け説明会」

2021年11月18日(木)に、リタリコワークス立川のサービス管理責任者である関口和司様と、当事者社員としてジョブコーチをされている鈴木雅人様をお呼びし、ゆいのもりの職員向けの説明会を行いました。

元々は、法人内の就労プロジェクトチームで「株式会社が行う就労移行支援では、資料の作りこみや就労に関する評価、分析など、参考にすべき点が多くあり、事業所を見学させてもらうことでメンバー支援に生かせるのではないか」という意見があったので、見学会を企画していました。しかし、コロナ禍ということもあり、大人数での見学は難しく、今回は説明会という形での実現となりました。

当日は、関口様に用意していただいた資料で、リタリコワークス立川でのサービス内容や、プログラム内容を解説していただきました。また鈴木様は、ご自身がリタリコワークス立川の就労移行支援を利用されていたこともあり、サービス利用者の視点を含めた形で、就労準備の流れを解説してくださいました。

質疑応答では、事業所の雰囲気から利用希望者の傾向、実習後の評価分析について等、幅広く質問がありました。お二方に率直で具体的なお答えをいただいたお陰で、大きく盛り上がりを見せました。

改めて関係機関の方々と連携して支援を行っていく重要性を確認できる、良い機会となりました。

ご登壇いただきました関口様、鈴木様、誠にありがとうございました。

(筆者：原 常雄)

就労移行実績報告

2020年度は1名のメンバーが就労いたしました。職種は営業サポート職です。

ゆいのもりの就労支援では、月に1回開催する『就労プログラム』を行っています。

プログラムの中で「ビジネスマナー」「服装・身だしなみ」「履歴書の作成」「面接練習」「ハローワーク職員や関係機関職員を招いての講義」などの就労に向けた準備を進めています。

また、希望に応じて、職業センターの適性検査なども活用し、就労実現の支援を進めております。

今年度は、例年の取り組みにプラスして、少し間口を広げた『プチ就労プログラム』を行いました。「自分はまだ就職は遠いのかも…」や「具体的に何から始めていいかわからない」といった不安やニーズに応えるべく、いったん敷居を下げて、メンバー同士が自分の気持ちや状況、希望について語り合い、今後の目標を定めるよい機会になりました。

今後も希望される方の就職実現に向けて、ひとりひとりの「働きたい」に寄り添い、ご自身の力で「課題」と向きあっていけるよう丁寧な支援を心掛け、取り組んでいきます。

(筆者：本橋 剛)



ゆいのもりメンバー投稿



メンバーの皆さんの声を聞いてみました。

コロナ終息を願いながら、新しいことを始めるきっかけにいただけたら幸いです。

コロナが終息したら一番やりたいこと

●P.A.R.T.Y

●温泉

●一日マスクを着けず外で過ごしたい。

●カラオケ

●旅行

●ハグ・握手・友人宅訪問

●居酒屋で同級生と飲み会

●都心に遊びに行きたい。

●競馬場で競馬観戦

特に、秋の天皇賞、日本ダービー、ジャパンカップ、有馬記念が見たいです！

私の得意料理

●鍋（食材をぶちこむだけ！）

●豚のから揚げ

●フェイジョアード

（豆と肉を煮込んだ料理）

●野菜炒め（焼くだけで野菜がっばい摂れるため）

●レバニラ炒め（レバーを程良く焼く）

●キノコ炒め（健康のため）

●冷凍物や缶詰のアレンジ

●ポトフ

（BOOKOFFで売っている安い料理本を見て）

（冬は体が温まる）

●ハヤシライス

（3日間は食べれる）

昭島のおすすめスポット

・日吉神社（季節によって御朱印が変わる。）

・モリタウン1Fコバラカフェ（ごはんよりナンがおすすめ、ドリンクはチャイで。）

・カッパのマスコットの無料の水（昭島市の各駅にあり、お水がおいしい）

・モリタウン1Fわくわく広場（食工場のパン売ってます！）

・ムービックス（オタクの救世主）

・湯楽の里

・アウトドアヴィレッジ

etc...

編集後記...

原稿やイラストの協力をしてくださった方々、本当にありがとうございました。「感恩奉仕」、ステキなエピソードありがとうございます。あらためて感謝の気持ちを意識しながら生活を送ってみようと思います。（コージ）